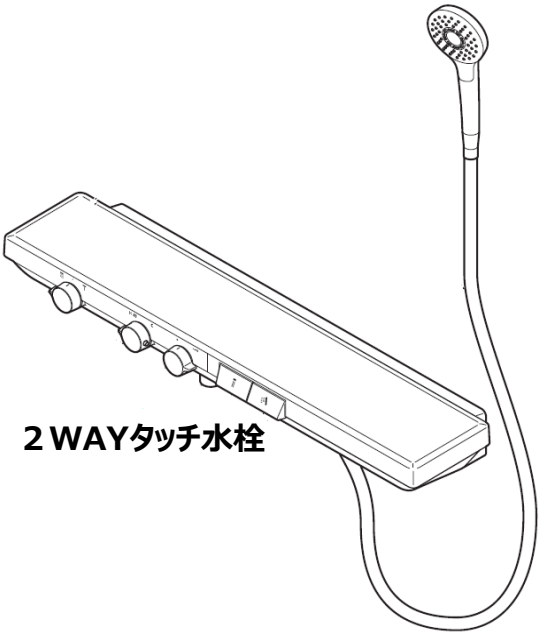
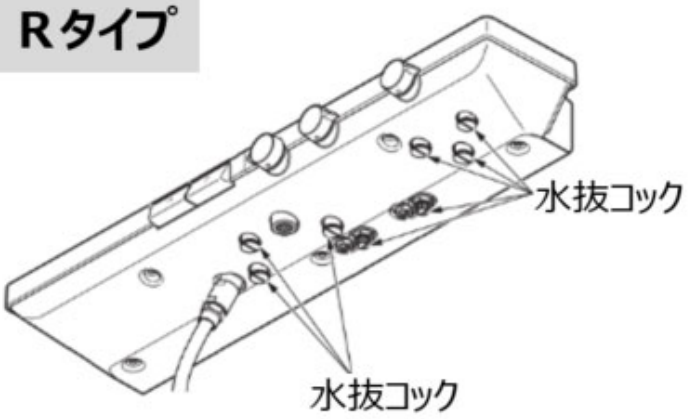
シンラ HK/WKシリーズ G/R/B/Dタイプ 2WAYタッチ水栓(寒冷地用)
天井に オーバーヘッドシャワーがないタイプ

寒冷地用水栓は、底面に水抜コックがあります

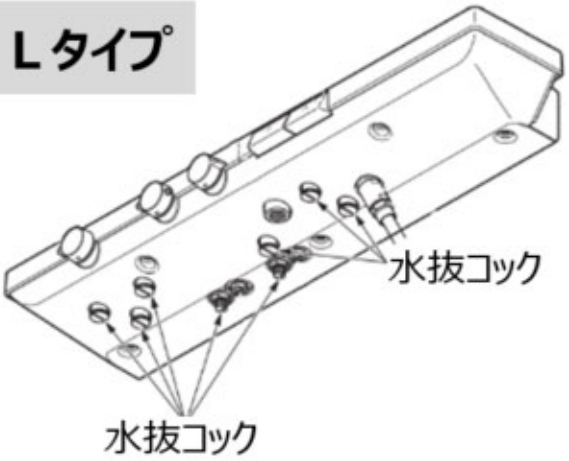


２WAYタッチ水栓

Rタイプ



Lタイプ



凍結予防方法 P２、３

通水再開方法 P４

水抜きを行っても 通水再開後、水が出ない場合の対応方法 P4

通水再開後に流量が変わった場合の対応方法 P5

万一 凍結した場合の対応方法 P６

凍結後、温度がずれている場合の調整方法 P6、7

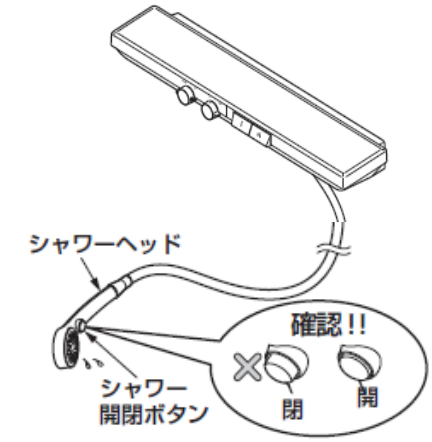
凍結予防方法

1．水栓の水抜きをする前に

配管内の水を抜いてください。

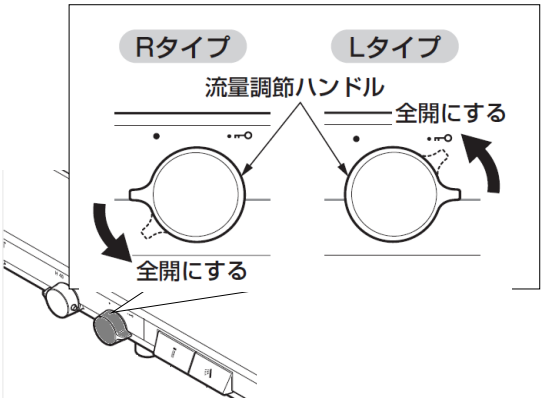
配管内の水を抜いていない場合、水栓内の水が十分に抜けず、凍結のおそれがあります。

2．水栓の水抜き方法

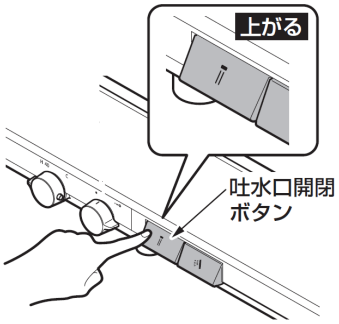


1 **シャワーがクリックタイプ（シャワーヘッドにボタンあり）の場合は、シャワー開閉ボタンを押して”開”にする。**

2 **シャワーヘッドを床近くに置く。**

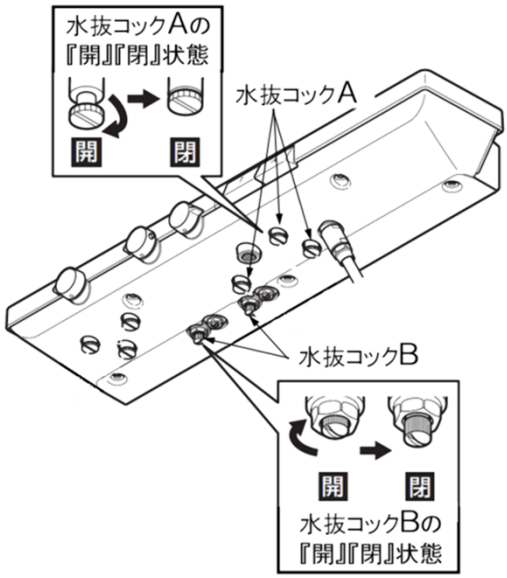


3 **流量調節ハンドルを反時計回りいっぱい（全開）に回す。**



4 **吐水口開閉ボタンを押す。**

ボタンがあがります。



5 **水抜コックA３カ所、**

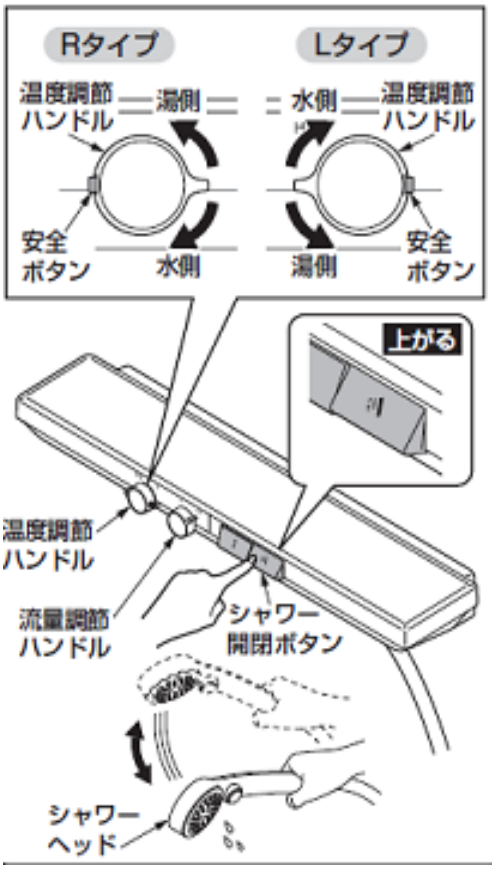
水抜コックB２カ所をすべて開ける。

※水抜コックAとBでは『開』『閉』状態が異なります。

『開』になっているか、図を確認ください。

『開』になると、空気を取り入れ、

水が抜けやすくなります。

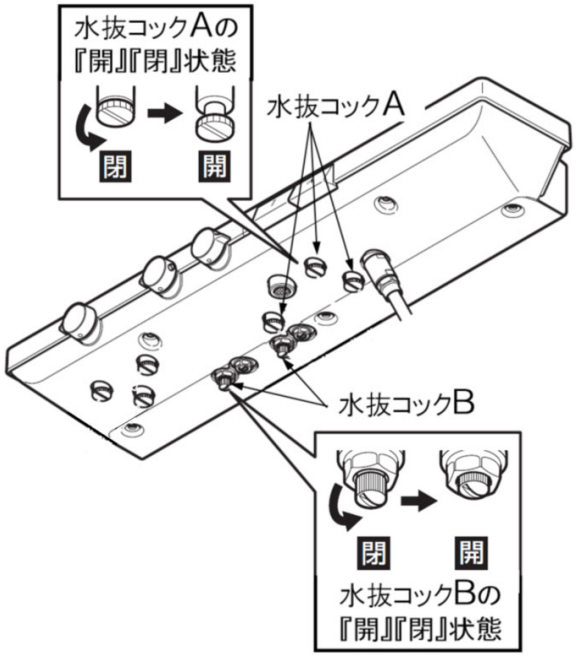


6 安全ボタンを押したまま、温度調節ハンドルを
湯側⇔水側と複数回切り替え、吐水口から水を抜く。
（確実に水を抜くため）

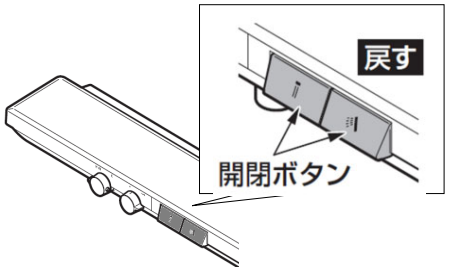
7 吐水口から水が出なくなったら、
シャワー開閉ボタンを押し、ホース内の水を抜く。

8 シャワーヘッドは、下向きにし、
よく振って中の水を抜いてから、床に置く。

9 確実に水が抜けたことを確認する。
（水抜きが不十分な場合、
凍結破損のおそれがあります）

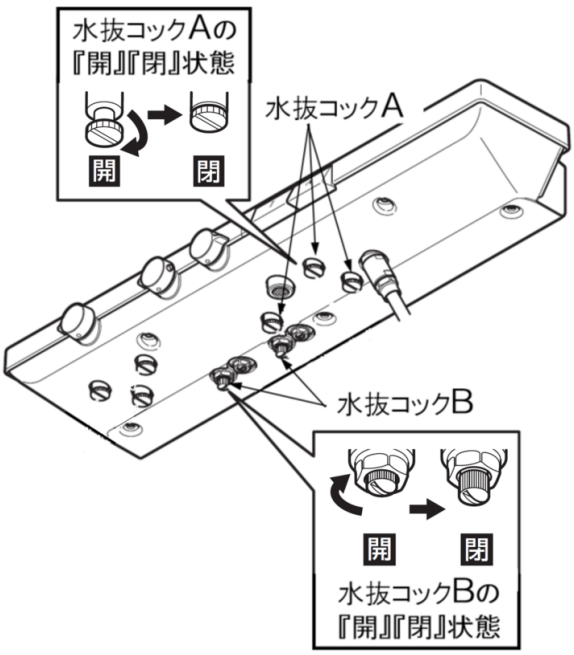


10 水抜コックA３カ所、
水抜コックB２カ所をすべて閉める。
※水抜コックAとBでは『開』『閉』状態が異なります。
『開』になっているか、図を確認ください。

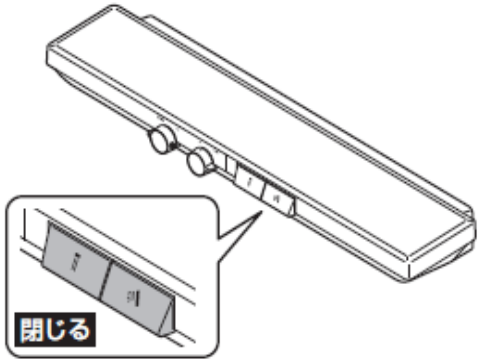


11 開閉ボタンを戻す。
⇒水抜き完了です。

通水再開方法

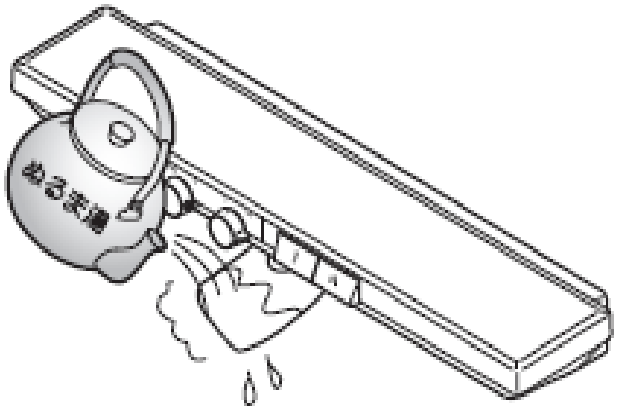


1 **水抜コックA３カ所、**
水抜コックB２カ所をすべて閉まっていることを確認する。
※水抜コックAとBでは『開』『閉』状態が異なります。
『開』になっているか、図を確認ください。



2 **閉ボタンが閉じていることを確認し、通水を再開する。**

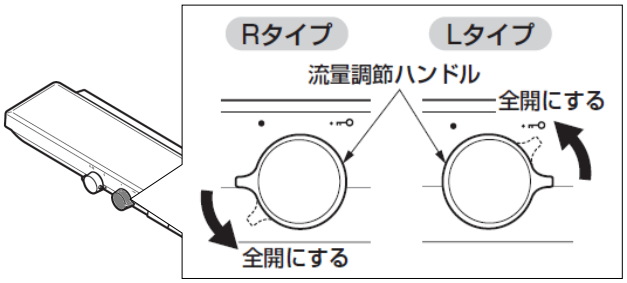
水抜きを行っても通水再開後、水が出ない場合の対応方法



水抜きを行っても吐水口の網目や
フィルターに付着した水滴が凍り、
通水後も少しの間、水が出ない場合があります。

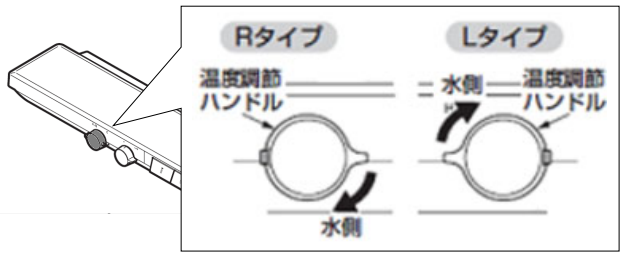
そのときはタオルなどの布を巻き付け、
しみこませるようにゆっくりとぬるま湯をかけてください。

通水再開後に流量が変わった場合の対応方法

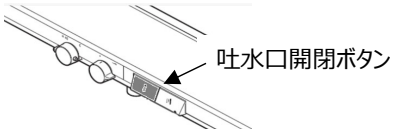


準備するもの：洗面器、マイナスドライバー

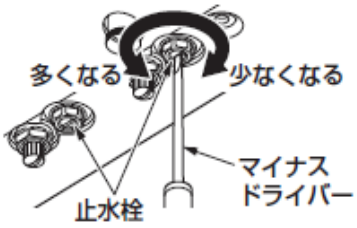
1 **流量調節ハンドルを反時計回りにいっぱいに回し、全開にする。**



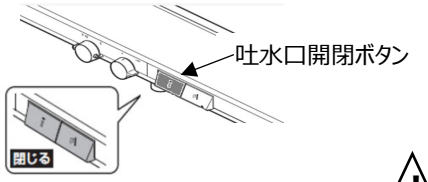
2 **温度調節ハンドルを時計回り（水側）いっぱいに回す。**



3 **吐水口開閉ボタンを押す。**

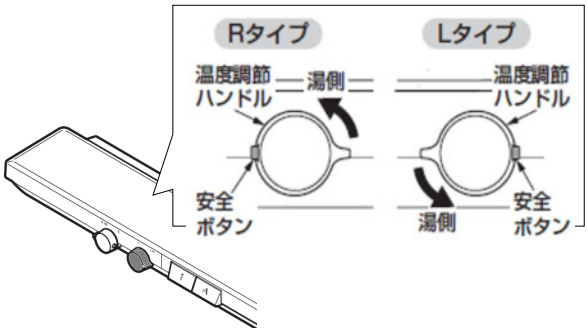


4 **流量が15L/分程度になるように（洗面器一杯にするのに約15秒弱）水側止水栓で調節する。**
時計回りに回すと流量が少なくなり、
反時計回りに回すと多くなります。



5 **吐水口開閉ボタンを押して、水を止める。**

⚠ **湯側の流量調節をするときはやけどに十分に注意してください。**



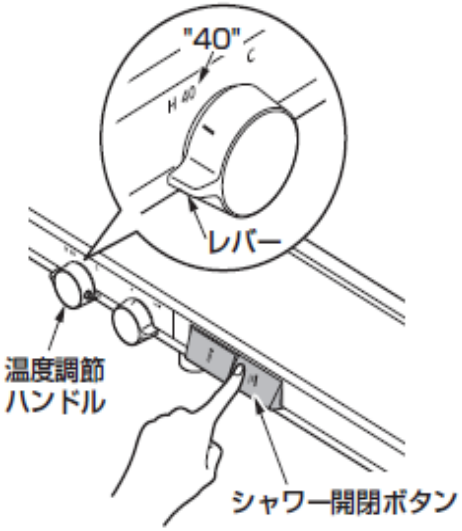
6 **安全ボタンを押しながら温度調節ハンドルを反時計回り（湯側）いっぱいに回す。**

7 **吐水口開閉ボタンを押す。**

8 **流量が15L/分程度になるように（洗面器一杯にするのに約15秒弱）湯側止水栓で調節する。**
時計回りに回すと流量が少なくなり、
反時計回りに回すと多くなります。

万一 凍結した場合の対応方法

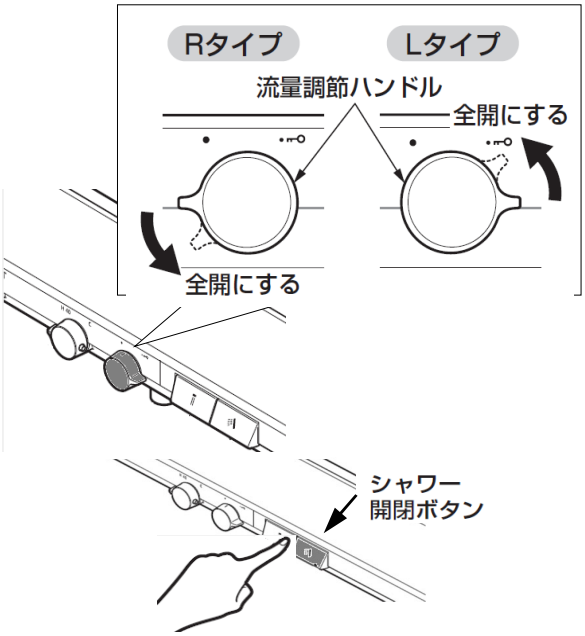
⚠ **凍結すると、設定温度がずれて、やけどのおそれがあります。**



準備するもの：温度計

万一、凍結した場合は、
通水再開後のシャワー吐水時に温度調節ハンドルのラインを
"40" にあわせ、吐水温度と一致しているか確認してください。

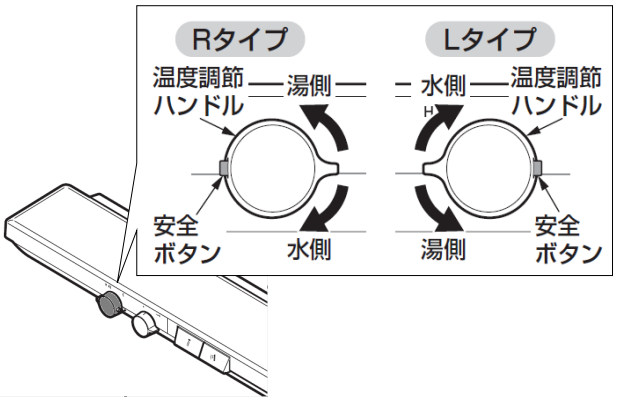
温度がずれている場合の調整方法



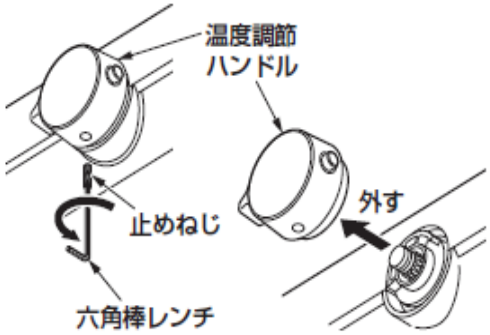
準備するもの：温度計、六角棒レンチ

❶ 流量調節ハンドルを
反時計回りいっぱい（全開）に回す。

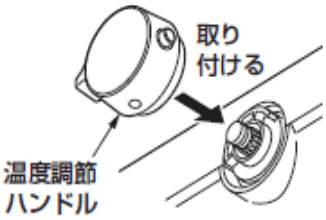
❷ シャワー開閉ボタンを押す。
シャワーから水が出ます。



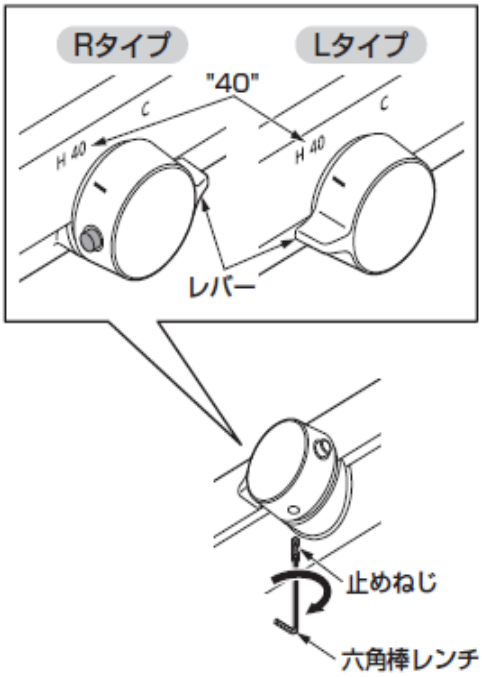
❸ 温度調節ハンドルを"40"表示の位置に関係なく
適温（約40℃）の湯が出る位置まで回す。
温度調節ハンドルは目盛り"40"を超えた付近で
ロックされますので、これより高温の湯を出したいときは、



❹ 温度調節ハンドルを外す。
温度調節ハンドルが回らないように注意して
止めねじを外す。
ハンドルの取り扱いには十分に注意してください。
落下させるとけがをしたり、
ハンドルが変形するおそれがあります。



5 **"40"の文字とラインをあわせて、**
温度調節ハンドルをはめ込む。



6 **六角棒レンチで、**
止めねじを固定してください。

7 **温度調節ハンドルに**
ガタツキがないことを確認する。
正常に固定されていない場合、
ハンドルが落下するおそれがあります。

8 **固定後に適温（約40℃）の**
湯が出ているか確認する。